

平成29年度市民活動助成事業 審査結果

■平成29年度 市民活動助成事業（スタート助成）

優先順位	事業名	団体名	採択の適否	助成金額(円)	付帯意見又は理由
1	笑劇で施設利用老人を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	適	100,000	-
2	まつどでつながるママちから事業	まつど一時保育ネットワーク	適	67,400	-
3	子どもの貧困の啓蒙、子どもと高齢者の交流事業	子どもの未来を考える会	適	100,000	-
4	なつやすみアートひろば事業	NPO法人子どもつとまつど	適	100,000	<p>【付帯意見】</p> <p>これまで、教育委員会の共催により実施しているが、今後市民活動助成事業として実施するのであれば、共催は当該制度に馴染まないため、後援がふさわしいと思料する。</p>

5	パトロールランニング普及事業	パトラン松戸	適	100,000	【付帯意見】 防犯関係団体と連携し、また貴団体の取り組みが関係団体に認知され、他団体や他機関と繋がるために、ポスターやリーフレットを活用し、各地域に展開することを望む。また、イベントでのデモンストレーションなど、市民に認知してもらう機会作りを積極的に行ってほしい。
5	「認知症に備える」為の啓発活動事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸	適	97,000	-
7	個々の家族構成・生活スタイルに合った「我が家の災害マニュアル」を作ろう事業	NPO法人MamaCan	適	100,000	-
8	公共サインの改善で松戸の街並みをレベルアップする事業	都市環境デザイン学研究室 公共サイン研究会	適	100,000	【付帯意見】 調査報告にとどまらず、公共サインデザイン策定に向けた提言を行うことを期待する。

9	音楽活動によるまちの活性化事業	松戸合唱まちづくり同好会	適	100,000	<p>【付帯意見】</p> <p>事業収入において、福祉施設入居者からは参加費を徴収しないものと思料するが、徴収するのであれば、慎重に考えてほしい。活動の継続のために、助成金の使い方を考え、助成金の終了後も続けられるよう工夫することを望む。</p>
10	「自炊者の常用レシピ - 母の味 -」を広く市民に配布する事業	数値調理会	適	100,000	<p>【付帯意見】</p> <p>レシピの配布を目的とせず、自炊の楽しさに気づいてもらうための働きかけをしっかりと行ってほしい。その結果、健康寿命延伸に繋がる一歩となることを期待する。</p>
-	2020年学習指導要領改定に係る講演会とTRPG体験イベント事業	MEP(松戸教育推進会議)	否	65,700	<p>【不採択理由】</p> <p>生きる力を養う、育むことにおいては、TRPGに軸足を置いたほうが事業の効果が見込まれ、また、学生、親、教育関係者を対象としているが、対象が絞りきれていないため。</p> <p>【付帯意見】</p> <p>現在貴団体が取り組んでいる学生の居場所と学習の場づくり事業で得られる知見は、貴団体の強みとなるので、それらの取り組みを土台に再考し、提案してほしい。</p>

■平成29年度 市民活動助成事業（ステップアップ助成）

優先 順位	事業名	団体名	採択の 適否	助成金額 (円)	付帯意見又は理由
1	「カレーを食べる会」 事業	五番街ふれあいセン ター	適	250,000	<p>【付帯意見】 活動の継続を望む観点から、赤字にならないよう必要となる食材費に参加者の会費を合わせることを検討してほしい。また、参加者のうち、可能な方には、食器類一式を持参してもらうなど、消耗品費を抑える試行をしてほしい。</p>
2	地域を支える安心シス テムへの取組事業 ～成年後見人制度の普 及・啓発・利用促進事 業「第二弾」～	認定NPO法人 東 葛市民後見人の会	適	300,000	-